

ふくしまから はじめよう。

Future From Fukushima



ふくしま宣言

全国、そして世界の皆さん、これまでの、心のこもった数え切れない御支援に、

福島県民は大いに助けられ、励まされ、勇気をいただきました。

改めて、心より感謝を申し上げます。

皆さんの支えと県民の努力があつて、

このふくしまにも、今ようやく復興の芽が出始めました。

この小さな芽を、私たちみんなの手で、しっかりと大きく育てたい。

そして、やがて大きくなったその木の下に、

笑顔あふれる子どもたちが集まる、そうしたふくしまを、

私は創っていききたいと考えています。

「私たちは必ず、美しいふるさとふくしまを取り戻します。

私たちは必ず、活力と笑顔あふれるふくしまを築いていきます。

そして私たちは、このふくしま復興の姿を世界へ、未来へと伝えます。」

〔3・11ふくしま復興の誓い2012〕で福島県知事が世界に向けて発信した「ふくしま宣言」から抜粋。全文は巻末に掲載。

CONTENT

未来をみつめて	3
ふくしまの自然	5
ふくしまの温泉	9
ふくしまの食文化	11
ふくしまの特産品	13
ふくしまの歴史	15
ふくしまの伝統	17
ふくしまの祭り	19
ふくしまの文化・スポーツ	21
アクセス&主な観光地	23
福島県復興計画	25
知事メッセージ	29

復興 前を向き、未来をみつめて。



逆境に負けない強いところ。
歴史や風土から育まれてきた先人たちの
「ふくしま人スピリッツ」は、
確かに現代に受け継がれています。



スパリゾートハワイアンズ ハワイアンズダンシングチーム 山際 麻衣さん



かつて炭鉱と家族を救うために立ち上がった第一期フラガール。その奮闘ぶりは映画「フラガール」で目にした人も多いだろう。被災し、休館を余儀なくされた現代のフラガールたちは、その精神を受け継ぎ、昨年5月再び立ち上がった。復興を願い、全国に笑顔と元気を届けるために、「全国きずなキャラバン」の公演は、26都道府県に韓国ソウル市を含めた125カ所で行われる。

247回にも上った。「多くの方から温かいご声援をいただき、逆に元気をもらった」と話すダンサーの一人、山際麻衣さん。全国を巡業し、「絆」を感じたという。「私たちにできることは、明るくて楽しいショーを毎日『笑顔』でお見せすること。お客様に喜んでいただけるステージになるように(これからも)努力していきます」そう言って山際さんは、練習の輪に駆け寄っていった。



DATA
スパリゾートハワイアンズ(運営会社:常磐興産株式会社)
所在地/〒972-8326 福島県いわき市常磐藤原町50
TEL/0246-43-3191(代表) FAX/0246-44-6220
ホームページ/ <http://www.hawaiians.co.jp/>
東京ドーム6個分の敷地に5つのテーマパーク。宿泊も可能な遊びきれない温泉大陸。もちろんフラガールたちのダンスは必見です。

株式会社おのざき 代表取締役社長 小野崎 幸雄さん

目の前のこと、
今やれることを、
一步一步やっていきたい。



「仕入れ段階からこれは大丈夫というもののしか扱いません。お客様との信頼を守りたい」と話すのはいわき市内で鮮魚・海産物の専門店を営む「おのざき」の社長・小野崎幸雄さん。被災した店舗を寝る間も惜しんで復旧。安心安全な魚を提供しようと頑張っているにもかかわらず、福島県産のものはなかなか売れない。そんな風評被害を食い止めようと小野崎さんは市内の同業者を集め、福島復興を掲げた「ふくしま海援隊」を立ち上

げた。イベントなどを通じ、少しずつ理解も得られるようになってきた。「魚を食べる食文化を継承するために、またこの地で立ち上がりたい」、そんな思いを込めて活動している。「今は遠くを見ることはできない。だからこそ目の前のこと、今やれることを一步一步着実にやっていきたいんです」そう言って、小野崎さんはまたお店に戻っていった。



DATA
株式会社おのざき
所在地/〒970-8026 福島県いわき市正内町80-1
TEL/0246-23-4174 FAX/0246-21-2604
ホームページ/ <http://www.onozaki.net/>
東北最大級の海産物専門店。福島県いわき市内に小売5店舗、海鮮寿司店2店舗を展開。

株式会社IHI 相馬第二工場 航空宇宙事業本部 相馬第二工場長兼相馬事業所長 須貝 俊二さん

本当の地域貢献は、
私たちの本業を
きちんと継続すること。

東日本大震災により県内にある多くの企業や工場が操業停止に追い込まれた。震度6弱の揺れに襲われた相馬市にあるIHI航空宇宙事業本部相馬第一・第二工場も例外ではなかった。しかし不幸中の幸いで、人的被害はなく、3月末には被害の軽微だった工場の一部操業を開始。5月中旬には、全面再開にこぎつけた。

「比較的早期に全面再開できたことで、県内はもとより東北地方の多くの方々に、励みになったという声をいただきました」と話すのは相馬事業所長の須貝俊二さん。企業として相馬野馬追に参加した



り、近くの仮設住宅の住民を同工場の夏祭りに招待したり、改めて地域との結びつきを被災後に感じたという。「でも本当の地域貢献は、私たちの本業をきちんとやっていくことだと思ふんです」と須貝所長は未来を見つめ、そう締めくくった。



DATA
株式会社IHI 相馬第二工場
所在地/〒976-0001 福島県相馬市大野台1-2-3
TEL/0244-37-3712 FAX/0244-37-3731
ホームページ/ <http://www.ihico.jp/>
相馬第一工場・第二工場があり、それぞれ航空・宇宙部門をメインとしたジェットエンジンのタービン質などの部品の製造・加工を行っています。



四季折々の美しい表情。 多様な趣に出会える感動。



ふくしまの今

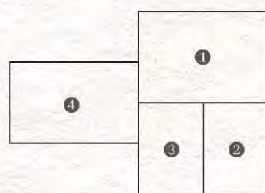
日本三大桜の一つを 大切に守ります

日本三大桜の一つに数えられる三春滝桜。大正11年に桜の木としては初めて国の天然記念物に指定された名木です。四方に伸びた枝に無数に群れ咲く花の様子が、流れ落ちる滝のように見えることからこの名が付いたと伝えられています。地元の人たちがずっと大切に守ってきたこの滝桜を、いつまでも元気に育つように見守り、手入れをしていくことが私たちの仕事です。

滝桜の見頃は毎年4月20日前後。昨年も、震災直後で人々が落ち込んだ表情を見せる中、この滝桜だけはいつものように元気に咲き誇り、その姿にとっても勇気付けられました。樹齢は千年を超えると伝わる滝桜。歴史と自然の中で人々に育まれてきた桜が、見る人の安らぎとなることを願います。



三春町歴史民俗資料館 副館長 平田 稯文さん



- ① 尾瀬ヶ原（松枝岐村）
- ② 吾妻小富士（福島市）
- ③ 大内宿（下郷町）
- ④ 三春滝桜（三春町）



たべいじゅんこ
田部井淳子さん 田村郡三春町出身 登山家
1975年、エベレスト日本女子登山隊・副隊長兼登攀隊長として、世界最高峰エベレスト8848mに女性世界初の登頂に成功。1992年、女性で世界初の7大陸最高峰登頂者となる。環境省中央環境審議会委員。2009年春よりNPO法人日本トレッキング協会会長。福島県しゃくなげ大使。

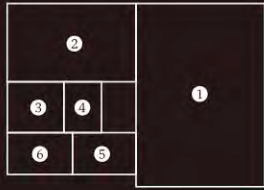
私の好きな ふくしま

梅と桃と桜の花が一度に咲くので三春町といわれる所で生まれ育ち、安達太良山、磐梯山、吾妻山、会津駒ヶ岳、尾瀬などふくしまの大自然を歩いてきました。ヒマラヤや世界の山と比べてもあの桜の美しさ、森の風景は実に見事な所ばかりです。

田んぼに水がはられた新緑の里山はまるで昔ばなしの絵のようです。残雪をいまだく山々が次第に緑したたる森になり、それが秋には錦の帯に変化する。雪の積もった時に森の中で出会えるブナの大木。どの季節もすばらしい。

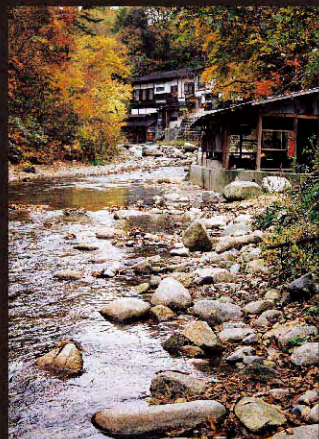
花見だ、花火だ、いも煮会だ、四季折々に親戚から、幼な友達、ご近所の人々が大自然の中で集い会える。それがふくしま。

そんなふるさとが大好きです。



- ① 磐梯山とそば畑（猪苗代町）
- ② 高柴山のツツジ（田村市）
- ③ 塩屋崎灯台（いわき市）
- ④ 達沢不動滝（猪苗代町）
- ⑤ 吾妻小富士の雪うさぎと
桃の花（福島市）
- ⑥ 猪苗代湖と磐梯山（猪苗代町）





- ① 二岐(ふたまた)温泉 (天栄村)
- ② 熱塩(あつしお)温泉 (喜多方市)
- ③ 木賊(とくさ)温泉 (南会津町)
- ④ 早戸(はやと)温泉 (三島町)
- ⑤ 高湯(たかゆ)温泉 (福島市)



しらはね
白羽ゆりさん 福島市出身 女優
福島市、桜の聖母学院高校出身。元宝塚
歌劇団星組・雪組トップ娘役。84期生。所
属事務所はホリプロ。あったかふくしま観
光交流大使。

私の福島でよく行く温泉は飯坂温泉です。小さい頃から家族で行っていました。親戚や友達と一緒にいったり、リラックスしたい時に行くのはもちろん、宝塚に合格した時や両親の結婚記念日など、大事な日にも行く事が多かったですね。温泉の楽しみはやはり露天風呂！福島の冬、雪景色の中、露天風呂に入るの最高です。そして料理やお酒も楽しみです。よね！福島の日本酒は美味しいです。し、ゆつくりしながら味わうのも良いですね。これから行ってみたい温泉は会津の東山温泉です。一度だけ撮影で行った時、囲炉裏があったり、雰囲気がとても良かったのを覚えています。どんな季節でも温泉は体と気持ちをリセットできる場所。また私も何かの記念日に行きたいと思っています。

私の好きな ふくしま

温泉地や温泉街だけではなく、温泉宿にも個性があります。近代的なホテルから山沿いのひなびた温泉宿まで、それでいてマニュアル化されていない温もりを感じさせる宿ばかりです。四季を感じながら、心と体を休めてみてはいかがでしょうか。

温泉地や温泉街だけではなく、温泉宿にも個性があります。近代的なホテルから山沿いのひなびた温泉宿まで、それでいてマニュアル化されていない温もりを感じさせる宿ばかりです。四季を感じながら、心と体を休めてみてはいかがでしょうか。

四季を感じながら
心と体を休めてみては

ふくしまの今



日本秘湯を守る会 会長 佐藤 好億さん

温泉街から名湯・秘湯まで、 バリエーションの豊かさが魅力。

ふくしまの
温泉

豊かな自然と気候風土が 育んだ美味なる味わい。

ふくしまの今



ふくしまの食文化研究家 平出 美穂子さん

福島なら
何でもそろいます。

全国で3番目の面積を持ち、海と山と平坦地が共存する福島県は、地形や気候から3つの地方に分けられてきました。それぞれ独立した3つの食文化。それが福島県の食文化の魅力なのです。

太平洋沿岸の浜通りは、港では魚介類が水揚げされ、南北に走る阿武隈高地では畜産が行われてきました。奥州街道と阿武隈高地の間に位置する中通りは、高地を吹き抜け突き刺さるような風により、凍み大根、凍み餅、凍み豆腐など凍みの文化を作り出し、平坦地では有数の果物を生み出してきました。山脈に囲まれた会津は、塩蔵物と発酵物など保存食を中心とした食文化が形成されてきました。



喜多方ラーメン (喜多方市)



なみえ焼きそば (浪江町)



ソースカツ丼 (会津若松市)



の ざき ひろ みつ
野崎洋光さん 石川郡古殿町出身
分とく山 総料理長
武蔵野栄養専門学校卒業後、東京グランドホテルの和食部に
入社。5年間の修行を経て八芳園に入る。1980年に東京・西麻
布の「とく山」料理長に就任。1989年に「分とく山」を開店し、現
在は5店舗を総料理長として統括。雑誌、TVなどを通して、調理
科学、栄養学をふまえたわかりやすい和食を提唱。子供たちの
食育活動にも力を入れている。福島県しゃくなげ大使。

私の好きな ふくしま

浜通り・中通り・会津地方の三つの
風が福島の産物を生んできました。
明治四年、山ほどの主産物を輩出す
る桃源郷は、福産品の島ということで
福島とされたのだろう。浜の黒潮と親
潮のぶつかる潮目の海は、旬の豊漁で
ある。中通りの清らかな風の通り道
は、野菜・果物 世界に誇れる逸品を産
出する。会津地方の水、清らかな産物、
頑固味は、日本食味のトップクラスで
ある。意外と知られていないのは、こ
の間まで移住したい県のナンバーワン
は福島であること。首都圏から近い、
受け入れが親切、地価が安い。これは
福島県への評価である。温泉郷でもあ
り、酒の評価もトップクラス、星も奇
麗とくれば住んでみたい。また蘇る地
には世界に向け粟穂稗穂を掲げます。



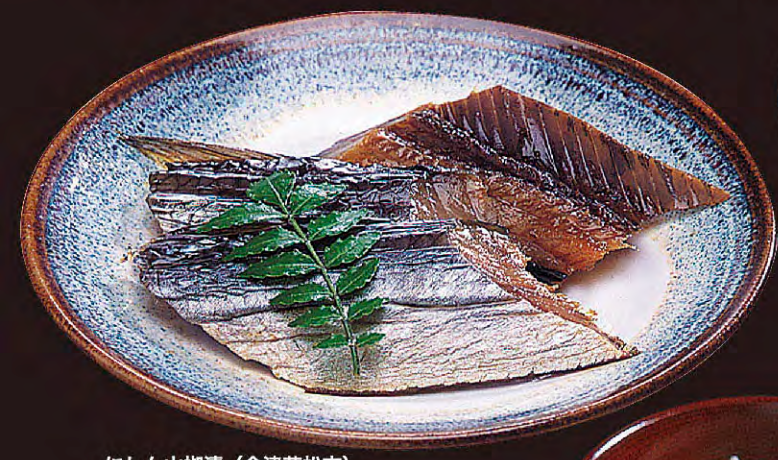
円盤餃子 (福島市)



輪箱飯(わっぱめし) (会津若松市)



メヒカリの唐揚げ (いわき市)



にしん山椒漬 (会津若松市)



いか人参 (福島市)



祝言そば (猪苗代町)

ふくしまの特産品

ただひたむきにまっすぐに、
作り手の真心。



福島のプロウ
あづみずく
(巨峰・高尾など)

福島の梨
豊水・幸水
新高など

福島のリンゴ
サンふじ
王林など

会津身不知柿(みしらずかき)
(会津地方)

会津唐人風(とうじんだこ)
(会津若松市)



白河だるま
(白河市)



三春張子
(郡山市・三春町)



赤ペコ (会津若松市)



起き上がり小法師 (会津若松市)



福島の桃
あかつき・はつおとめ
ふくおとめなど



福島の銘菓



私の好きな
ふくしま

天下無敵の食材王国

我が郷里の福島県は、全国第三位の面積を有する広大な地で、その大きさのために、会津、中通り、浜通りという三つの地域に分けられている。実はこの三つの地域には、それぞれ固有の風土や文化があつて、他県に類例の少ない三型県民文化圏が成立しているのである。例えば会津には、山と川と田畑が育んできた「熟れた食文化」があり、中通りには天領が物語る地力と民衆の智力で築いた「阿武隈の食文化」があり、さらに浜通りには、海と里の幸がつくり上げた「海里の食文化」がある。

とにかく福島県には、山あり、海あり、湖沼あり、川あり、畑あり、田圃があり、そこからは豊饒な食べものが年中生み出されてくる、天下無敵の食材王国なのである。



福島の米



福島の地酒

ふくしまの今

福島の大地は
かけがえのない恵み

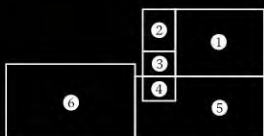


ABE果樹園 代表 阿部 秀徳さん

果物づくりとは、単に生産者が栽培した自慢の果物を提供することではありません。皆さんがどのような果物を求めているのかを考え、さらにそれを安心・安全なものとしてお届けする責任が私たちにあります。そして皆さんに「おいしい」と言っていたら初めて生産者としての喜びがあるわけです。

私の果樹園は福島市郊外にあり、ネクターリン、3種類の桃、9種類のリンゴを栽培しています。中でも、生産量が少ないことから「幻のリンゴ」と呼ばれる糖度の高い高徳という品種は、この土地だからこそ生み出せるものです。福島豊かな風土や広大な大地は、かけがえのない恵みだと感謝しています。ぜひ多くの方に福島果物を味わっていただきたいですね。

先人たちの息吹を今に伝える、 名所・旧跡の数々。



- ①若喜(わかき)レンガ蔵 (喜多方市)
- ②文知摺観音(もちづりかんのん) (福島市)
- ③白水阿弥陀堂(しらみずあみだどう) (いわき市)
- ④福満虚空蔵尊圓藏寺 (ふくまんこくぞうそんえんぞうじ) (柳津町)
- ⑤上宇内薬師堂 薬師如来坐像 (かみうないやくしどうやくしにょらいざどう) (会津坂下町)
- ⑥鶴ヶ城(つるがじょう) (会津若松市)



ささ がわ
笹川ひろしさん 会津若松市出身
アニメーション監督、漫画家、作家。竜の子プロダクション(タツノコプロ)顧問。漫画家を経て、タツノコプロの創立時から演出家として活躍。1970年代から1980年代にかけてのタツノコ黄金時代の立役者の一人。代表作は『タイムボカンシリーズ』など。

私の好きな ふくしま

会津若松市で漆器職人として修行をしていた頃、古本屋で偶然見つけた手塚治虫さんの1冊の漫画。今の私の原点はこの瞬間にあります。手塚さんのアシスタントになつてから、会津若松市にお連れしたことがあります。とても気に入られましたね。その後ご家族とプライベートで何度も来られたようです。会津をモデルにした漫画も書かれました。私も年に数回、会津若松市に帰ります。市内を散策するといういろいろ再発見しますね。雰囲気のある街並みに魅了され、食べ物もこんなにおいしかったのかと驚きます。まだ私知らない会津がこんなにあるのですね。私の奥さんも会津出身ですから、お互いに会津なまりが抜けません。あつたかい会津が大好きです。

ふくしまの今

長い歴史そのものが 会津の魅力

私は鶴ヶ城天守閣内部の郷土博物館で会津の歴史を紹介しています。会津は、葦名、伊達、蒲生、上杉、保科、松平と、数多くの領主が治めた歴史があります。白虎隊も知られています。そうした武家文化を中心とした歴史の展示は、日本の文化をわかりやすく楽しんでいただけのものとして、国内はもちろん海外からのお客様にも喜ばれています。着物を羽織つての写真撮影なども人気です。

また鶴ヶ城は昨年、これまでの黒瓦の天守閣から、幕末期の姿である赤瓦に葺き替えました。赤瓦の天守閣としては国内唯一の建造物となります。

常に風景の中に天守閣が溶け込んでいる会津。長い歴史そのものが魅力の会津を多くの方に楽しんでいたきたいと思います。



ゆだ さちこ
若松城天守閣郷土博物館 学芸員 湯田 祥子さん



平成25年大河ドラマ 八重の桜



同志社大学提供

平成25年1月からNHKで、新島八重を主人公にした大河ドラマが始まります。

幕末から明治へと激動する時代に、現在の会津若松市に生まれ、「幕末のジャンヌ・ダルク」また「ハンサムウーマン」と称された八重。そこには幼少から福島県・会津の地で培った不屈の精神がありました。数々の逆境に置かれながらも生涯、自分の可能性に挑戦し、すべての人の幸福を願った彼女の生き方は、復興を目指す今の私たちの生きるヒントになるかも知れません。



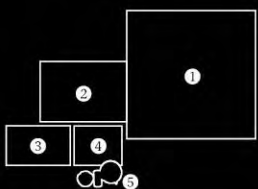
(福島県 新島八重マスコットキャラクター)



えん どう ち あき
遠藤千晶さん 福島市出身 琴奏者
東京藝術大学大学院修了。大学卒業時には、卒業生代表として御前演奏。第8回長谷校校記念全国邦楽コンクール最優秀賞・文部科学大臣奨励賞、第62回文化庁芸術祭新人賞、第13回日本伝統文化振興財団賞など多数の受賞歴をもち、現在は、国内外での演奏活動・教授活動に励んでいる。福島県しゃくなげ大使。

私の好きな ふくしま

箏曲の名曲〈六段の調〉を作曲した八橋検校は、福島県いわき市の出身です。また、箏の原材料である桐は、福島県会津産のものが最高級といわれ、私たち箏曲演奏家に好んで使われています。私は福島に生まれ、育ちました。四季に変化する山々の色、柔らかな若葉の薄緑、太陽に輝く水面、月夜のあたたかな光……心の中にあるふるさとの風景が、私の演奏に彩りを与えてくれていることに気付きます。そして、私の活動の大きな原動力になっているのは、ふるさとの皆さんのあたたかさ。2011年10月の東京でのリサイタルにも、福島からたくさんのお客様が駆け付けてくださいました。どんなに大変な時でも、笑顔と、相手への気遣いを忘れない福島の人々。私は、そんな福島が大好きです。



- ① 檜枝岐(ひのえまた)歌舞伎(桧枝岐村)
- ② 笠懸・流鏑馬(かさがけ・やぶさめ)(古殿町)
- ③ からむし織り(昭和村)
- ④ 会津漆器(会津若松市)
- ⑤ 大堀相馬焼(おおぼりそうまやき)(相馬市)



いにしえから現代へ 受け継がれてきた文化。



ふくしまの今



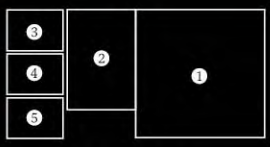
千葉之家 花駒座 座長 星 長一さん

変えられることのない
本当の古典歌舞伎

毎年5月12日と8月18日、神様に対する奉納歌舞伎として受け継がれてきた檜枝岐歌舞伎。来年2013年には伝えられて270年の節目を迎えます。

国の重要有形民俗文化財に指定された「檜枝岐の舞台」で厳かな雰囲気包まれる中で演じられる歌舞伎。役者はもちろん、衣装づくりから化粧、着付け、裏方まで全て村の人たちの手によって行われています。私も二座に参加して45年目ですが、子どもの頃からずっと「お祭りといえば歌舞伎」だと思いい参加を楽しみにしていたものです。

代々先輩から後輩に伝えられるため演出家によって変えられることのない本当の古典歌舞伎。今年は源平の戦で平家の敗路を物語った「二之谷嫩軍記」を伝えていきます。



- ① 相馬野馬追 (相馬市)
- ② 七日堂(なのかどう)裸まいり (柳津町)
- ③ 木幡(こはた)の幡まつり (二本松市)
- ④ 日本三大火祭り 松明あかし (須賀川市)
- ⑤ 日本三大けんか祭り 飯坂けんか祭り (福島市)



さとうピーさく
佐藤B作さん 福島市出身 俳優
福島県立福島高等学校卒業。劇団東京ヴォード
ビルショー座長、オフィスボードビル社長。軽妙な
語り口と独特の演技でドラマや舞台、映画、CM、
ナレーターなど幅広く活躍し、旅番組のレポー
ターとしても人気。奥様は女優のあめくみちこさん。
福島県しゃくなげ大使。

私の好きな ふくしま

飯坂町に生まれ高校時代まで過ごしました。飯坂町には「けんか祭り」というお祭りがありましてね。毎年10月最初の金・土・日の3日間開催されるのですが、これがまた迫力満点なのです。2日目、本祭りの夜になると、若衆に担がれたいくつもの太鼓屋台が境内の中で激しくぶつかり合う。太鼓が鳴り止んだら負けになるから負けまいと打ち鳴らされる太鼓。あふれかえる人。全てが圧巻です。境内に入るまで屋台で太鼓をたたいていて、観衆が屋台を通すために道を空けてくれてそこを通る瞬間、気持ちよかったです。覚えてます。

最終日の後祭りでは、前夜戦い終えた屋台が町内を一周するのですが、壊れたまま練り歩くその姿もかっこよかったですね。



時代を超え、 魂がはじける祭典。



ふくしまの今



継承していく姿を ぜひ見ていただきたい

私の家は代々相馬野馬追に携わっており、私自身、一度も休まず参加し、もう50年になります。昨年は、鎮魂と復興の旗印として小規模ながらも開催し、歴史の継承をすることができたと自負しています。

今年は7月28日、29日、30日に開催します。「二千有余年の歴史を経て今なおいきづく伝統の祭り」をテーマに、三社・五郷がそろっての総大将送り出しとお迎えの儀式、甲冑競馬、神旗争奪戦、武者行列、野馬懸など、例年と変わらない戦国絵巻を繰り広げる予定です。北海道から香川県に至るまで、全国に離ればなれになった武具、甲冑類、馬、そして人があらゆる手段を使つて帰ってきて、地域を盛り上げ、歴史を継承していく姿をぜひ見ていただきたいと思います。

相馬野馬追 三社・五郷騎馬会 会長 本田 信夫さん



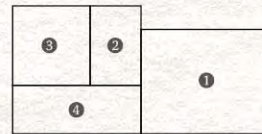
大会で全国を転戦していると、福島県の皆さんのスポーツに対する深い愛情を再認識することができます。福島県出身の方が必ず声をかけてくださいますし、応援いただくことがとても励みになり、それが好成績を残す原動力でもあります。県内では小さな大会でも新聞などに大きく取り上げていただけるし、会場での温かい応援は選手にとってとてもうれしいものです。

福島県には、おいしい食べ物があり、気持ち安らぐ自然もあり、疲れた体を癒やしてくれる温泉もあります。そして多くのスポーツ施設にも恵まれた福島県は、スポーツのチームやサークル、部活動などの合宿に適しています。一度来ていただいて、その良さにぜひ触れていただきたいですね。

私の好きな ふくしま



ちば まさみ
千葉麻美さん 矢吹町出身 陸上選手
福島大学(2008年)卒業。2011年4月、東邦銀行入行。＜主な大会出場＞2008年：北京オリンピック出場、2009年：ベルリン世界陸上出場、2010年：アジア大会出場。現在、400m日本記録保持者・・・記録 51秒75(2008.5.3)



- ① 県立安積黎明(あさかれいめい)高等学校 合唱部(郡山市)
- ② 尚志(しょうし)高等学校 サッカー部(郡山市)
- ③ 聖光(せいこう)学院高等学校 野球部(伊達市)
- ④ 東日本女子駅伝大会(福島市)

己を磨き、 大志を抱く。

第64回 全日本合唱コンクール全国大会

主催：(社)全日本合唱連盟・朝日新聞社 / 共催：(公財)府中文化振興財団 / 主管：東京都合唱連盟
後援：文化庁・東京都・府中市・府中市教育委員会・全日本音楽教育研究会・(社)全国高等学校文化連盟・NKK



ふくしまの今



福島県立安積黎明高等学校 合唱部
顧問 矢戸 真市さん 部長 渡辺 美紗さん

人とのつながりを大切にしながら

昨年10月に開催された全日本合唱コンクール全国大会では、32年連続33回目となる金賞をいただくことができました。

みんなと一緒に音楽を奏でることが当たり前の環境の中での震災。校舎も被災し練習場所の確保も難しい中、避難されている方々の前で歌うなど、多くの方に発表と練習の場を与えていただきました。私たちの歌によって元気になっていただき、感動したよと言っていたいた時、また合唱ができると、ありがたさを実感した瞬間でした。

失ったものも多い震災ですが、私たちに与っては得たものも数多くあります。これからも、人とのつながりを大切にしながら、もっと明るく、歌で福島県を、全国を元気にしていきたいと思っています。

福島県へのアクセス

車で移動の場合

福島エリア

- ＊川口JCTー(東北自動車道:2時間50分)ー福島西IC
- ＊仙台宮城ICー(東北自動車道:50分)ー福島西IC

郡山エリア

- ＊川口JCTー(東北自動車道:2時間30分)ー郡山IC
- ＊仙台宮城ICー(東北自動車道:1時間20分)ー郡山IC

白河エリア

- ＊川口JCTー(東北自動車道:1時間50分)ー白河IC
- ＊仙台宮城ICー(東北自動車道:1時間50分)ー白河IC

いわきエリア

- ＊三郷ICー(常磐自動車道:1時間50分)ーいわき湯本IC
- ＊三郷ICー(常磐自動車道:2時間)ーいわき中央IC

会津エリア

- ＊川口JCTー(東北自動車道:2時間30分)ー郡山JCTー(磐越自動車道:40分)ー会津若松IC
- ＊新潟中央ICー(磐越自動車道:1時間30分)ー会津若松IC
- ＊仙台宮城ICー(東北自動車道:1時間10分)ー郡山JCTー(磐越自動車道:40分)ー会津若松IC

電車・新幹線で移動の場合

福島エリア

- ＊東京ー(東北新幹線:1時間40分)ー福島
- ＊仙台ー(東北新幹線:25分)ー福島
- ＊山形ー(山形新幹線:1時間10分)ー福島

郡山エリア

- ＊東京ー(東北新幹線:1時間20分)ー郡山
- ＊仙台ー(東北新幹線:40分)ー郡山

白河エリア

- ＊東京ー(東北新幹線:1時間20分)ー新白河
- ＊仙台ー(東北新幹線:1時間)ー新白河

いわきエリア

- ＊上野ー(常磐線:特急2時間10分)ーいわき

会津若松エリア

- ＊東京ー(東北新幹線:1時間20分)ー郡山ー(磐越西線:快速1時間10分)ー会津若松
- ＊東武浅草ー(東武日光・鬼怒川線・野岩鉄道:3時間20分)ー会津田島ー(会津鉄道:1時間)ー会津若松
- ＊仙台ー(東北新幹線:40分)ー郡山ー(磐越西線:快速1時間10分)ー会津若松

飛行機で移動の場合

-  札幌から 新千歳空港より約1時間20分ー福島空港
-  大阪から 伊丹空港より約1時間10分ー福島空港

＊フライト情報について詳しくはホームページをご確認ください。

福島空港から各エリアへのアクセス

福島エリア

- ＊福島空港から乗合タクシー約1時間15分で福島エリア

郡山エリア

- ＊福島空港からリムジンバス約40分で郡山駅

白河エリア

- ＊福島空港から乗合タクシー約40分で白河エリア

いわきエリア

- ＊福島空港から乗合タクシー約1時間20分でいわきエリア
- ＊福島空港からリムジンバスで約1時間25分でいわきエリア

会津若松エリア

- ＊福島空港からリムジンバス等で約1時間45分で会津若松エリア
- ＊福島空港から乗合タクシー約1時間20分で会津若松エリア

相馬エリア

- ＊仙台空港から車で約50分

福島県 広域MAP

首都圏に隣接した位置にある

福島県。東北新幹線や東北自動車道、磐越自動車道、

福島空港など高速交通網も

充実。優れたアクセスの良さが

魅力です。



凡例

- () — 高速道路(整備中)
- 地域高規格道路
- 観光有料道路
- JR東北新幹線
- JR線
- 私鉄

詳しくはHPでご確認ください

福島県観光ホームページ
ふくしまの観光情報は「福島の旅」へ！



福島の旅

検索

<http://www.tif.ne.jp>

福島県の観光スポット、旬の地域情報が満載！
福島の旅が丸わかり！！



飯盛山(会津若松市)

日本最後の内戦・戊辰戦争で白虎隊自刃の地。「白虎隊十九士の墓」には、年間約200万人が訪れる。中腹には、大変珍しい木造建築物米螺堂(さざえどう)がある。



会津田島祇園会館(南会津町)

800余年の伝統を誇る「田島祇園祭」(国指定重要無形民俗文化財)の貴重な展示物やジオマテ、七行器(ななほかい)行列の人形等を展示している。



野口英世記念館(猪苗代町)

福島県が世界に誇る偉人。野口英世博士の生家と生い立ちや業績が分かる記念館。また、野口博士の人体型ロボットから色々な話を聞くことができる。



東山温泉(会津若松市)

約1300年前に名僧・行基により発見された奥州三楽郷の一つ。会津若松市の中心部からアクセスも良く、竹久夢二や与謝野晶子などにも愛された。



五色沼(北塩原村)

1888年、磐梯山の水蒸気爆発により奇跡的に出来た湖沼群。裏磐梯エリアにあり、それぞれ色や水質の違う湖沼からなる自然探勝地。



史跡慧日寺跡(磐梯町)

会津仏教文化発祥の地。その精神は、「高僧 徳一」によって築かれた。近年、慧日寺金堂と中門の復元がなされ、隣接して磐梯山慧日寺資料館がある。



あぶくま洞(田村市)

およそ8,000万年という歳月をかけて創られた大自然の造形美。全長約600mの洞内は、鍾乳石や石筍(せきじゆん)などを間近に鑑賞することができる。



ルネサンス棚倉(棚倉町)

東京ドーム8個分もの敷地面積の中では、トレーニングジム、インドア温水プール、クアハウス、テニスコート、乗馬などを楽しむことができる。



ビックバレットふくしま(郡山市)

展示、会議、レセプションの3つの機能が繊細かつ大胆なデザインで融合した複合コンベンション施設。国際会議から一般展示まで多彩なニーズに対応。



磐梯熱海温泉(郡山市)

伝説の乙女・萩姫ゆかりの温泉で、柔らかな泉質は「美人をつくる湯」として有名。福島空港、磐越自動車道からアクセス抜群の温泉リゾート。



飯坂温泉(福島市)

秋保、鳴子と並び奥州三名湯に数えられ、松尾芭蕉も立ち寄ったとされる。鯉湖湯をはじめとする8つの共同浴場は源泉かけ流しで市民や観光客も利用する。



コラッセふくしま(福島市)

福島駅西口にある複合施設。1Fには福島県観光物産館と行政サービス窓口がある。12Fには展望レストランとラウンジがあり食事等ができる。

浜通り



夏井川渓谷(いわき市)

多彩な滝や淵が織りなす渓谷はモミジやカエデなどの木々の紅葉が美しく、見る人を癒やしてくれる。



観光いちご園(相馬市)

いちご狩は食べ頃の1月中旬より開園。真っ赤に熟したイチゴを思う存分味わえる。ふくはる香、さちのか、章姫、紅ほっぺも食べ放題。



三崎公園(いわき市)

総面積70万㎡の広々とした公園には高さ59.99mのいわきマリンタワーがある。スカイデッキからは太平洋や小浜浜が一望できる。



いわき湯本温泉(いわき市)

道後、有馬温泉と並び、日本三古温泉の一つ。また、湯量も豊富で毎分5tもの温泉を汲み上げ、約30軒の宿が並ぶ。



アクアマリンふくしま(いわき市)

黒潮と親潮が会う潮目をテーマとした環境水族館。より自然に近い生態系を再現している。併設で子ども体験館アクアマリンえっくがある。



いわき・ら・ら・ミュウ(いわき市)

小浜浜で水揚げされた新鮮な魚貝類やお土産を販売する物産センター。館内には親子で楽しむ、屋内型あそび場「わんぱくひろば みゅうみゅう」もある。

中通り



福島県復興計画

未来につながる、うつくしま

『新生ふくしま』の創造へ 復興に向けた具体的な 取り組みを推進

本県では、平成23年3月11日に発生した東日本大震災、それに伴う東京電力福島第一原子力発電所事故、風評被害、さらに、新潟・福島豪雨、台風15号など、甚大な被害をもたらした災害からの復興に向けて、基本理念などを定めた福島県復興ビジョンを踏まえ、具体的な取り組みや主要な事業を示す福島県復興計画（第1次）を平成23年12月28日に策定しました。

復興計画検討委員会での議論、市町村との意見交換、県議会や県民からの意見を踏まえ策定した、今後10年の計画です。

この復興計画に基づき、環境回復や県民の健康を守る取り組みなどを推進していきます。

福島県復興計画（第1次）の構成

基本理念

- 原子力に依存しない[※]、安全・安心で持続的に発展可能な社会づくり
 - ふくしまを愛し、心を寄せるすべての人々の力を結集した復興
 - 誇りあるふるさと再生の実現
- ※国・原子力発電事業者に対して、県内の原子力発電所の全基廃炉を求めることとしている。

復興へ向けた重点プロジェクト

安心して住み、暮らす

- ① 環境回復
- ② 生活再建支援
- ③ 県民の心身の健康を守る
- ④ 未来を担う子ども・若者育成

ふるさとで働く

- ⑤ 農林水産業再生
- ⑥ 中小企業等復興
- ⑦ 再生可能エネルギー推進
- ⑧ 医療関連産業集積

まちをつくり、 人とつながる

- ⑨ ふくしま・きずなづくり
- ⑩ ふくしまの観光交流
- ⑪ 津波被災地復興まちづくり
- ⑫ 県土連携軸・
交流ネットワーク基盤強化

復興のために重要な事業を抽出し、プロジェクトとして示した。

具体的取り組みと主要事業

原子力災害の克服

再生可能エネルギーの
飛躍的推進による新た
な社会づくり

災害に強く、未来を拓く
社会づくり

新たな時代をリードす
る産業の創出

地域のきずなの再生・
発展

未来を担う子ども・
若者の育成

応急的復旧・
生活再建支援・
市町村の復興支援

1 基本理念

復興計画では、「原子力に依存しない、安全・安心で持続的に発展可能な社会づくり」「ふくしまを愛し、心を寄せるすべての人々の力を結集した復興」「誇りあるふるさと再生の実現」という3つの基本理念を掲げています。

特に、今回の原発事故によって本県が受けた甚大な被害や、原子力発電所の安全性に対する信頼が根底から崩れたことなどから、復興計画に「県内の原子力発電所を全基廃炉にすることを求める」ことを明記しました。

2 復興に向けた重点プロジェクト

本県の復旧・復興のための特に重要な主要事業を12の「重点プロジェクト」として位置付けました。本県が災害からの復興を成し遂げるために、全ての力を結集し、これらのプロジェクトを推進していきます。

3 計画の実現に向けて

復興計画推進のためには、県、市町村、企業、NPOや民間団体など、多様な主体が役割分担しながら協働していくことが必要となります。

また、実効性を確保するため、計画の進捗管理を行うとともに、重点プロジェクトに盛り込んだ事業へ財源を優先的に配分すること、原発事故の収束状況や進捗管理の結果などを踏まえた適時・柔軟な見直しを行いながら、世界に誇れるような復興を成し遂げられるよう、取り組みを進めていきます。

復興に向けた重点プロジェクト

1 環境回復プロジェクト

県民の一刻も早いふるさとへの帰還と安心して生活できる環境の回復に向け、除染の推進、食品の安全確保、汚染廃棄物の処理、環境回復拠点の整備などに取り組みます。



除染情報プラザ

3 県民の心身の健康を守るプロジェクト

県民健康管理調査などによる県民の健康保持・増進や、浜通り地方をはじめ各地で課題となっている地域医療提供体制の再構築、放射線医学に関する最先端の診断・治療拠点の整備などに取り組みます。



4 未来を担う子ども・若者育成プロジェクト

18歳以下の医療費無料化など、安心して子どもを育てられる環境づくりや、理数教育・防災教育の充実、将来の産業を担う人づくりなどに取り組みます。

5 農林水産業再生プロジェクト

生産者等自らが、農林水産物の安全を確認できる体制の構築など、消費者に安全・安心を提供する取組や、ほ場の大規模化、新たな経営・生産方式の導入、木質バイオマスを活用した森林林業の再生、地域産業の6次化などによる生産性の向上などに取り組みます。

6 中小企業等復興プロジェクト

被災企業の再開支援・販路拡大の推進や、復興特区制度・福島復興再生特別措置法など他県より抜きんできた優遇制度を活用した企業誘致の促進などに取り組みます。



被災工場の復旧・再開

2 生活再建支援プロジェクト

被災者が安心して生活の確保、仮設住宅などにおけるコミュニティの確保、住環境の再建支援、雇用の維持・確保などに取り組みます。

7 再生可能エネルギー推進プロジェクト

再生可能エネルギーの導入拡大、最先端の研究開発拠点の整備、再生可能エネルギー関連産業の集積・育成、スマートコミュニティ等による再生可能エネルギーの地産地消の推進などに取り組みます。



洋上風力発電(東京大学石原 孟教授提供)

9 ふくしま・きずなづくりプロジェクト

県内外に避難している県民とふくしまとのきずなの維持を図るための情報提供や交流の場の提供のほか、国内外へ向けた本県に関する正確な情報の発信などに取り組みます。

10 ふくしまの観光交流プロジェクト

観光復興キャンペーン等の実施、国内外の会議や芸術・文化・スポーツ等の大会・イベントの誘致・開催などに取り組みます。



がんばろうふくしま!大交流フェア

11 津波被災地復興まちづくりプロジェクト

海岸堤防の嵩上げ・道路・鉄道・土地利用の再編など、複数の手法を組み合わせた「多重防御」による総合的に防災力の向上したまちづくりなどに取り組みます。

12 県土連携・交流ネットワーク基盤強化プロジェクト

常磐自動車道など「浜通り軸」の早期復旧・整備や、浜通りと中通りをつなぐ東西連携道路等の整備、小名浜港・相馬港の早期復旧・機能強化、J-R常磐線などの早期復旧・災害時における情報通信手段の強化などに取り組みます。



相馬港応急工事完了

8 医療関連産業集積プロジェクト

医療機器開発・安全評価拠点の整備、開発ファンドの創設などを通じた医療福祉機器産業の集積や、創薬拠点の整備などに取り組みます。

全国における福島県ベスト5

全国順位	項 目	数 値	年
1位	桐材生産量	408.4m³	平成22年
	納豆購入金額	6,379円	平成20～22年平均
	もも購入金額	7,859円	平成20～22年平均
	りんご購入金額	10,393円	平成20～22年平均
	アイスクリーム・シャーベット購入金額	9,335円	平成20～22年平均
	切り花購入金額	16,850円	平成20～22年平均
2位	かつお購入金額	4,609円	平成20～22年平均
	わかめ購入金額	2,422円	平成20～22年平均
	乳酸菌飲料購入金額	4,652円	平成20～22年平均
	中華そば(外食)支出金額	11,840円	平成20～22年平均
	もも収穫量	29,000t	平成23年
3位	豚肉購入金額	27,732円	平成20～22年平均
	せんべい購入金額	8,062円	平成20～22年平均
	清酒購入数量	12,360ml	平成20～22年平均
	日本なし収穫量	23,200t	平成22年
4位	なめこ生産量	2,195.4t	平成22年
	さんま購入金額	1,914円	平成20～22年平均
	卵購入金額	9,763円	平成20～22年平均
	沼湖面積(猪苗代湖)	103.32km²	平成23年
	きゅうり産出額	113億円	平成22年
5位	温泉地数	140箇所	平成22年

※全国における福島県のベスト5は、現在公表されている資料から主なものを抽出して作成しました。
 ※購入金額・支出金額は1世帯当たりの金額です。
 〔電源立地地域対策交付金事業充当事業〕



ふくしまから はじめよう。

多くの方々からの御支援と県民の皆さんの努力のおかげで、県内にもようやく復興の芽が出てまいりました。この芽を大きく育てたい。そして、ふくしまの未来を担う子どもや若者たちが誇りをもつことのできる「ふるさと ふくしま」を取り戻したい。そう願っています。

福島県は大震災、原子力災害から必ず立ち直ります。
 福島県の復興は、新たな社会の可能性を示していくことでもあります。

県民一人一人が復興に向けて歩み始める。そして、再生可能エネルギーへの転換など、ふくしまから新たな流れを創っていく。
 「ふくしまから はじめよう。」は、そうした未来への意志を込めた福島県の新しいスローガンです。この言葉を胸に、福島県は復興へ歩んでまいります。

福島県知事 佐藤 雄平



ふくしまから
はじめよう。

福島県

福島県広報課

〒960-8670 福島市杉妻町2-16

電話:024-521-7014

FAX:024-521-7901

kouho@pref.fukushima.lg.jp